

在住外国人に向けた東京都・区市の情報で多言語化(英語・中国・ハングル)されたものが配布・発信されています。

その情報が当該者になかなか伝わらなかったり、内容が難しく理解できず、また読めなかったりで、受けることの出来るサービスが受けられない場合が多いと考えています。

少しでも多くの日本語が母語でない人に行政情報を伝えるために「わかる日本語」について取り組んでいくことをTNVN Network News No.72 で記しました。

アンケート調査

先ずは、日本語ボランティア教室に参加している学習者とボランティアの方々に行政情報に関連して「わかる日本語・やさしい日本語」に対する状況や意見をアンケート形式で調査しました。(9月24日「ボランティア日本語教室ガイド2011東京」発行に向けた調査と同時に発送)2011年1月から調査結果をまとめ、3月に報告書として皆様のもとにお送りします。

その中で、学習者への“情報、お知らせは「わかりやすい日本語」で”の間に「書いてほしい」と回答したのが85%です。

また、ボランティアからは、学習の場で多言語情報は2/3の団体が紹介、配布、説明をしています。「やさしい日本語」で書かれた情報は多言語情報のわからない人はもちろん、わかる人にも必要としています、との意見が多い。

研究会

次いで11月5日から月1回TNVNスタッフ・運営委員12名が集まり検討を始めました。今後は行政の関係部門の担当者、専門の研究者、その他広く関係者の参加やご意見・ご指導を得て進めていきます。

1 まず、Web からいくつかの行政・国際交流協会や専門家・研究者等が進めている、「やさしい日本語」への取り組み状況を調べ、お互いに意見交換や検討をしました。

- (1) 「やさしい日本語」に関するもの
- (2) 行政の国際交流に関わる部署や国際交流協会を取り組んでいる、生活ガイドや外国人向けの情報誌などの情報内容を取り上げました。

- ① 多言語情報作成マニュアル ((財)自治体国際化協会)
- ② 「やさしい日本語」の作成ルール (弘前大学)
参考資料「やさしい日本語」漢字表 日本語初級3・4級
「やさしい日本語」語彙表 日本語初級3・4級
- ③ 外国人にやさしい日本語表現の手引 2006 埼玉県総合政策部国際課
- ④ 外国人のための生活便利帳 やさしい日本語版 東京都福生市 「ごみとリサイクル」
- ⑤ 川崎市国際交流委員会 HP から「新型インフルエンザへの対応について」「原文」と「やさしい日本語」の違い

- ⑥ 「やさしい日本語」をめぐる一橋大学 庵功雄氏の論文
- ⑦ 横浜市・横浜市国際交流協会HP リビングガイド 記事紹介

2 実践：行政情報を「わかる日本語」に書き換える。

～ここから何を考えるか～

今後日本語が母語でない人にとって必要で役に立つ行政情報を取り上げていきます。

これまでに

①②③からTNVN「わかる日本語」の表記ルール(試案)をまとめました。

日本語が母語でない人に
「わかる日本語を」
をテーマに研究会を始めました。

④⑤では内容の表現・文句について検討。「わかる日本語」にする難しさを知りました。

⑥では“「やさしい日本語」をめぐる”について意見交換をしました。

これまでの検討から

(1) 日本語が母語でない人に伝える「わかる日本語」は、ただ出された文をやさしい日本語に直すのではなく、「わかる日本語」にするには基本的なルールが必要です。

(2) 行政情報内容で前置きが長く、伝えたい内容が後に出てくる。

肝心の伝えたいことだけを書く。

(3) 最近、行政のホームページが機械により自動翻訳となっているが、肝心の内容が分かりやすくなっていないのではないか。(梶村 勝利)

「わかりやすい日本語 (やさしい日本語)」の 希望は85%

「ガイド2011」の発行を機に、日本語を母語としない人達が各自治体から発行されている行政情報や生活情報を、広く理解できるようにするため、各種情報が「わかる日本語(やさしい日本語)」で書かれることの必要性を明らかにするアンケートを「ガイド2011」掲載団体、教室にお願いをしました。

1 学習者への質問から【調査表Ⅱ】

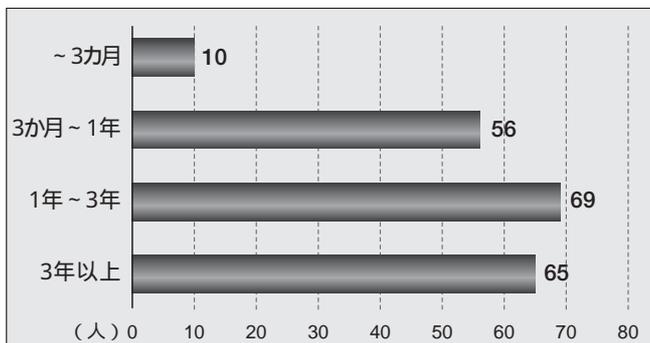
(集計まとめ 岩佐幹彦)

日本語を母語としない人達や、学習者に対する日本語情報の伝達のあり方について参考としてください。

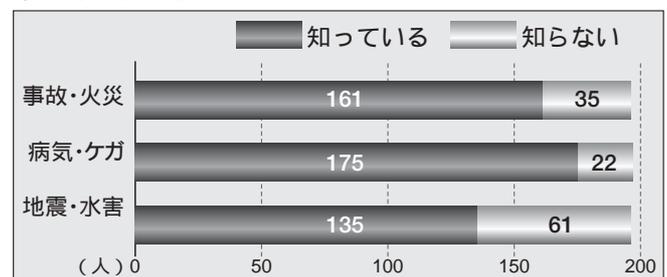
なお、このページでは要点のみ掲載し、各設問については別冊の報告書(特集)に掲載いたしましたのでご参照ください。

調査依頼団体・グループ 180団体 用紙回収枚数 206枚(人)

Q1 日本に何年いますか 回答数=201人 無回答1人

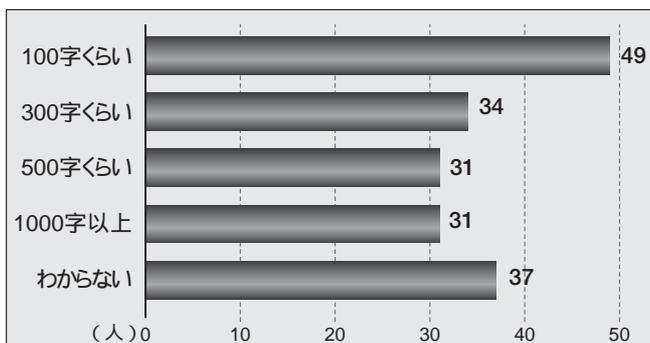


Q9 事故、火災が起きた時どうするか、 知っていますか



地震・水害時の情報の浸透度合い(知らないが31%)が低いです。

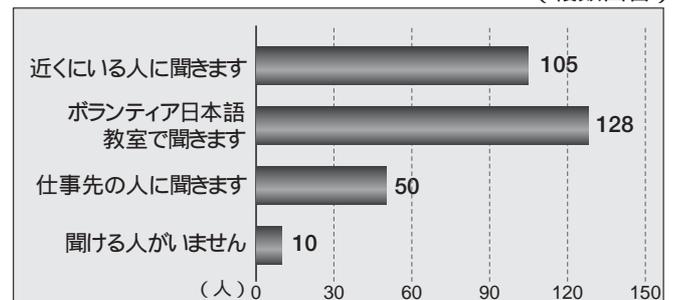
Q3 いくつぐらい漢字がわかりますか



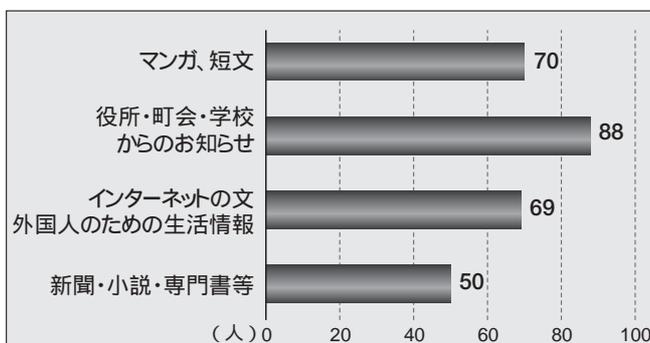
各々1/5の状況です。

Q11 日本語の文がわからない時はどうしますか

(複数回答)

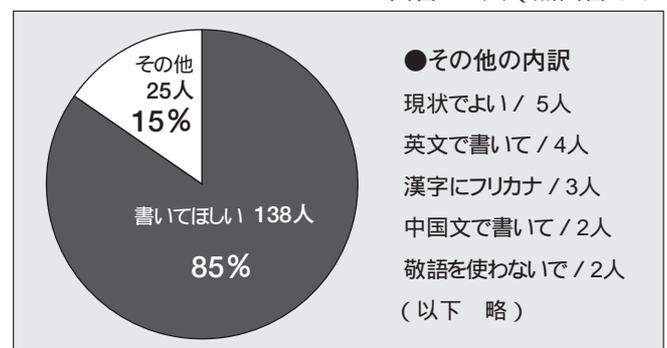


Q4 どんなものを読みますか(複数回答)



Q14 情報、お知らせは「わかりやすい日本語 (やさしい日本語)」で書いてほしいですか

回答163人(無回答あり)



2 日本語ボランティアの方への質問から [調査表Ⅲ]

回答数151 (まとめ 林川玲子)

学習者について

①学習者の日本語能力

おおまかに入門、初級、中級、上級に分けると

初級者が最大の団体は77、中級者が最大の団体は43、入門者が最大の団体は16、上級者が最大の団体は10。

学習者を多い順に並べると、「初級・入門・上級・中級」が最も多く24団体、次いで「初級・中級・入門・上級」21、そして「中級・上級・初級・入門」は12。

②日本語能力試験合格者 (回答数97)

1級 246人、2級 283人、3級 126人、4級 52人。

③学習者の国等 (回答数148)

世界全域にわたり全部で84。

地域別では、アジア21、オセアニア3、中近東6、ヨーロッパ26、南北アメリカ13、アフリカ15。

9割以上の団体には中国人、韓国人の学習者がいる。次いで半数の団体にフィリピン人、続いてタイ、アメリカ、台湾、ベトナム、ネパール、インド。

外国人のための行政情報について

①情報の入手先

「役所から届く」が一番多く79団体、次いで「国際交流協会から」・「インターネットで」・「役所、消防署、保健所等に取りに行く」でそれぞれ全団体の2割程度。

②情報の形式

多言語情報が一番多く、次いで日本文、ルビ付き漢字の日本文、と続く。

③情報の内容

区市民祭りなどの交流イベント情報がトップで、防災関連、外国人相談会の情報など。

④役立つ情報

防災関連、交流イベント、そして、インフルエンザなどの医療関連情報。

⑤教材として使う

頻度は一律ではないが、1/3の団体が教材として使用。

学習者への行政情報の伝達

①多言語情報 (英語・中国語・ハングル)

は2/3の団体が紹介。2/3の団体が配布し、やさしい日本語で説明。

②多言語情報がわからない人たちは、1/3の団体がやさしい日本語で伝達している。

母語のわかる人に頼んで伝えることも多い。その他、絵・写真・ジェスチャーなどを使って説明することもある。

③緊急時対応の行政情報

地震・水害、事故・火災、病気・病院の各情報は半数の団体が学習者に伝えている。

④学習者が持参する情報で最も多いのは学校、保育園、幼稚園関連のもの。

⑤通訳できる言語は英語、中国語、ハングルなど13言語にわたる。

1/3の団体は、日本語教室、病院、学校などでの通訳経験を持つ。

わかりやすい日本語 (やさしい日本語)について

①わかりやすい日本語で書かれた情報は、多言語情報がわからない人にはもちろんのこと、英・中・ハングルのわかる人にも必要。

②行政用語はわかりやすい日本語に直して伝える。行政用語の一覧、用語集がほしい。

③行政情報は、わかりやすい日本語で書かれ、ルビつき漢字で、短い文のものが望ましい。

④行政に困った事例などを知らせ、注意を喚起したい。

外国人支援のための連携・協力について

①27団体が区市の国際交流担当、多文化共生担当、国際交流協会などとの連携を持つ。その他の連携先は、区内市内ボランティア団体のネットワーク、社会福祉協議会 (ボランティアセンター) など。

②連携先からは、外国人支援のための情報提供、ボランティアのための講座の提供が各10団体、会場、活動費用の援助等の提供を受けているのは7団体。

③ボランティア団体からは、区市と情報を共有し、国際交流祭り、防災訓練などのイベントには企画から関わり、区市と協働していききたいとの意見も出ている。

日本を外国人に 上手に紹介するための 3つのポイント

日本文化体験交流塾 理事長

米原 亮三



日本を外国人に上手に紹介するための3つのポイントを挙げる。

第1に、固有名詞や数字を多用しないことである。「〇〇年に〇〇氏が〇〇に建てた建物」など、固有名詞を多く含んだ情報は、嫌がられることが多い。外国人への説明に必要なのは知識ではなく、日本文化の理解力であり、その分かりやすい説明である。

例えば、寺院のなかに神社があるのは何故か。人間が死後、神として崇められるのは何故か。鳥居の内側に入るとはどういうことか。こうした神社仏閣の基本について、きちんと説明できる力を身につける必要がある。山、風、木などを神とあがめた日本人の多神教的な世界観が基本にある。キーワードとなる結界とは、清浄な領域と普通（不浄）の領域とを区切ることである。代表的な結界である鳥居の内側は、山や木などの神々と人が交流する空間である。襖、障子、衝立なども、広義の結界として、説明できる。

第2に、自分の知っていることを一方的にしゃべらないで、相互交流の会話に努めること。良い話し手は、相手の聞きたいことを話す。そのためには、まず大枠を説明して、聞き手の関心を踏まえて、追加の説明をするのが、コツである。

また、相手国の考え方や諸制度がある程度は理解していないと、適切な説明が行えない。欧米諸国の政治・宗教・社会の仕組みは極めて異

なる。また、アジアの国では、戦争の影響と各国の教育の違いもあり、相互理解が不足する場合が多い。与えられた時間の20%~30%は、相手の声に耳を傾けることが、より良い説明の基本である。

第3に、宗教、侘び・寂びなど、日本文化を説明するキーワードは、難しいからと逃げないで、自分なりに理解し、説明するように努めること。鈴木大拙氏は、名著「禅と日本文化」で、「寂び」は、貧困・単純化・孤絶などの意に近いという。私は、侘び・寂びを質素、少量という言葉から理解している。

例えば、西洋のフラワーアレンジメントが花瓶一杯に多くの花を生けるのに対して、日本の華道は、数少ない花や木をバランスよく配置する。西洋では、バラ園など華やか

な花で庭園が構成されるのに対して、枯山水の庭園は簡素な美である。中国では山盛りの料理が御馳走であるのに対して、会席料理は、長い時間をかけて少しずつ味わう。また、花や木の間の空間を美ととらえ、また料理と料理の間の時間を「間」として大事にすることも侘び・寂びの特徴である。これは、対象物への関心を高める技法に他ならない。

その反面、対象への関心の絞り込みは、対象物の高い完成度を必要とする。例えば、京都の料理は、薄味だけに材料の良さ、調理技術の優劣が明白に分る。簡素な茶室ほど、手がかかり、高額である。一見素朴な陶器で何千万円もするものがある。日本の美学は、質素・少量を出発点にしつつも、高度で高価な世界でもある。

神社、華道、茶道、和食などの基本に、伝統的な考え方があり、外国人に説明するためには、日本文化を勉強することが必要になる。日本文化体験交流塾には、200人の通訳案内士が所属するが、語学力の向上と日本文化の学習はいずれも欠かせない課題である。





デンマークの風土

デンマークはスカンジナビア三国の一つです。デンマーク人が誇りとしているものは、童話作家のアンデルセン、酪農製品、エコロジーを考えた風力発電、おもちゃのレゴ、そして、家具に代表されるインテリアデザインです。そうそう、デンマークの風景も。

美しい自然の中、夏には白夜が訪れます。日が暮れるまでの長い時間、家族や友達と、自宅の庭やアパートの中庭で、ゆったりと食事したり会話したりしながら過ごします。

長く、暗く、寒い冬は、私たちには充電期間です。雨や風が吹き荒れ、雪が降り、大地は凍てつきます。仕事や学校に行くのも、暗いうちに出発し、暗くなってから帰ってくるという始末です。家の中にいる時間が長くなるうちに、家具やインテリアデザインについてのデンマーク人の関心が高まっていったのかもしれません。

デンマークの習慣

私たちは、家にお客さまを招待する習慣をもっています。「うちがどんな感じか、見に来ませんか」という誘いから、交友関係が始まります。それを繰り返すうちに、親しい友達になっていくのです。これは、私が体験した日本文化との違いの中でも、特に大きな違いとして感じるものです。デンマークでは、知り合ってからすぐの人でも家に招待し、まるで名所案内するかのよう、家の中の部屋を、一つ一つ詳しく紹介していきます。

日本では、すぐに家族や奥さん、旦那さんを紹介しないのも、不思議に思うことのひとつです。デンマークでは、奥さんや旦那さんをどこに行くにも連れて行きます。パーティに招待するときは、そのお相手もお招きしなければ、失礼になってしまいます。

デンマークらしい言葉「ヒュゲ」

8歳の娘に「一番デンマークっぽいものって何だと思う？」と尋ねてみたら、娘は即座に「ヒュゲだよ!」と答えました。「ヒュゲ (hygge)」というのは、ある特別な雰囲気や感情をあらわす言葉です。「ヒュゲ」という言葉があらわす内容は、どの国にもあるものだと思います。でも、デンマーク人は、これは私たちだけの言葉だ、という意識を持っています。今、何も足りないものはない。温度や照明もびたりと合っている。みんなが同じ時間、同じ場所で、気持ちよく過ごしている。そして、みんながほんの少し幸せを感じる。これが「ヒュゲ」です。



寒い日の散歩の帰り道、パン屋に寄ってデニッシュ・ペストリーを買い、家でゆっくりコーヒーを飲みながら食べるのは「ヒュゲ」です。お気に入りの本を読んだりするのも「ヒュゲ」です。このように「ヒュゲ」はデンマーク人にとって、日常生活と切り離せないものです。

でも、「ヒュゲ」は日本にもあります。たとえば、温泉には「ヒュゲ」があります。夜店などの日本のお祭りにも「ヒュゲ」があります。冬の寒い日に掘りごたつに入って足を暖めながらみかんを食べる……なんていうのは、完璧に「ヒュゲ」です。

「ヒュゲ」は、私にはとても大事なものです。デンマークと日本のどちらにも「ヒュゲ」があるというのは、私にとってとても幸せなことです。



デンマークと日本とヒュゲ

松澤ドレー・ティップスマーク

デンマーク
やさしい日本語(江東区)

1998年6月にスタートして14年、参加した学習者は4千名近になりました。

早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 (新宿区)

梶村 勝利

数名で始めたボランティアは現在67名となり、水曜日（午前・午後・夕方）と金曜日（午後）の週4回の活動日に参加しています。

活動の場は早稲田大学の近くにある(財)早稲田奉仕園です。ボランティアの会として会議室を無料でお借りしています。最寄り駅はJR高田馬場駅や東西線早稲田駅です。

学習者は合わせて毎週100名前後となり、新宿区など近隣に住んでいる人達その他、路線を乗り継いで来る人も大勢います。近隣国はもちろん、北欧など遠い国の人達もいて国際色豊かです。

子どもが学校や保育園などに行っている合間に来る人、日本語学校に通う前後の時間に来る人、ワーキングホリデーで来ている人、再度日本に来て訪れる人

等もいて多彩です。

日本語を熱心に学ぶ中で日本の文化や生活を話し合い、お国事情を語り、和やかな会話が飛び交っています。

今年（2011年）の新年会は旧暦元旦の前日に開かれました。恒例となり、今年は90名近くの参加者があり、会場は大いに盛り上がりました。

今回は初めて琴の演奏があり、ボランティアとそのお師匠さんの二人が「六段の調べ」「冬のソナタ」など4曲を奏で、全員が幽玄の音に聞き入り、暫し料理を食べる手を休めていました。

最後は「世界はひとつ」を全員で合唱、2時間半はアツと言う間でした。

ほかに「お茶会」「学習者発表会」「課



外活動」などを開き学習者に参加してもらいます。

一方で研修会・懇親会・忘年会等、ボランティアだけの集まりも開いています。これらは会員全員がお互いに協力し合う日本語支援活動です。

ボランティアは全員が(財)早稲田奉仕園主催の日本語ボランティア養成講座を受けた人達で、活動歴が長い人も最近始めた人も互いに協調して会の活動がされています。

会員団体紹介

Nice to Meet You

「しゃべろう日本語」では、都営三田線千石駅近くの文京区立千石図書館で、毎週土曜日朝10時から12時まで、日本在住の外国人の皆さんとアットホームな雰囲気日本語会話をしております。参加者の国籍は中国、台湾、韓国、ベトナム、フランス、アメリカ、メキシコなどなど、お立場も留学生、会社員、公務員、大学教授、ご家庭の奥様などなど本当に様々です。

教室への参加者数は多い時で10～15名。基本的には1対1の対話型式で日常のことを話したり、参加者が持参した図書や教科書を一緒に読んだり勉強した

会話時間はいつもワイワイガヤガヤ

しゃべろう日本語 (文京区)

池ノ上 朋子

り、新聞や図書館で借りた本を読んだり、その時の参加者の希望に基づいてお話しします。教室は20～30名位になりますので、会話時間はいつもワイワイガヤガヤ♪みんな話に熱中してしまい、終了の時間になってもなかなか終わらないこともしばしば（笑）。

休憩時間には、お茶菓子を食べながら、その時季にあった日本のトピックの話題などを交換。1月29日に実施の時は節分の話題。鬼のお面をかぶって豆まきも！

時には教室の外に、お花見や紅葉狩りにも出かけます。私たち活動の源は参加者の皆

さんの明るくて元気な笑顔です。お近くに外国人の方がいらしたら是非私たちをご紹介ください。

ホームページは<http://shaberou.grupo.jp/>
連絡は池ノ上（いけのうえ）

09091388611

tikenoue@t.vodafone.ne.jp、まで！



学習者の声

教室の日を待っている

志摩 タチヤナ / ウクライナ
日野国際友好クラブ (日野市)



日本語スピーチ大会のタチヤナさん

私は、いつも水曜の日本語教室の日を待っています。この日が来ればとてもうれしいです。私はまだ日本人の友達はいません。だから、みんなと交わることができてうれしいです。また、先生はとてもやさしいです。この前は、先生と一緒に日暮里へ行きました。私は、洋裁が大好きで、生地を買うために先生と行きました。洋服をたくさん作っています。

私は、日野国際友好クラブで日本語の勉強をして、一昨年日本語検定試験で3級を

とりました。日野国際友好クラブからも賞状をもらいました。とてもうれしかったです。勉強を続けていますが、だんだん難しくなってきました。特に漢字が難しいですね。読むのは出来ますが書くのが苦手です。でも頑張っています。日本語が上手になるとどこへでも行かれます。自動車の免許も取りました。主人は仕事なので、私は子ども達を連れて買い物に車で出かけます。また、夏にはプールや公園などへも行きます。伊豆の海まで行ったこともあります。日本語が出来る自信が出てきたからです。

日本語教室では、生活のことで教えてもらえるので助かります。例えば、私は料理が好きなので、料理の本を買いますが先生に教わります。また、子どもが幼稚園からもらってくる手紙のことが分からない時に先生に教えてもらいます。ほんとうに助かります。こんど、日野市民の皆さんに料理を教えます。頑張ります。

ボランティアの声

会長 寺本 勇 / 日野国際友好クラブ (日野市)

外国の人が暮らしやすい町づくり

私は、ボランティアを続けているうちに、この活動は貴重な存在で有ることを痛感するようになりました。市内に住む外国の人は、市民と同じような活動ができないハードルがあります。日本語理解やごみの分別、市内の公共施設が分からず利用できない、子どもが持ってくる学校の便りが分からない、いざ困った時に市役所では対応できない、災害時の対応を含めて、行政ではできない事の代役を私たちは行っています。

最近、行政がより市民の要望に応える町づくりを行うために、市民団体と協働で事業を行うようになりました。私たち団体も、行政側と一緒に事業を行うことによって幅

広い活動が展開できます。今年度の協働事業では、市内在住の外国人に呼びかけ「市内の歴史施設めぐり」や「ごみの分別」「日本料理教室」を行い、外国人を講師として市民に呼びかけ「国際クッキング」や「国際理

解講座」などを行っています。いずれも、行政と企画・立案・実行まで話し合いをし分担して行っています。「市内在住の外国人の人が住みよい町」にすることでねらいが両者一致しています。来年度は市民農園で「市民と一緒に田植え」の声も聞かれます。

しかし、市内の外国人向けに4ヶ国語パンフレットを各公共施設に置いたり、市の広報に載せたり、私たちの教室で配ったりしていますが、労力の割には外国人の人が集まって来ません。特に市内の外国人の人へのPRは今年度から始めたものであり、普及していく方法を模索中です。



イヤーエンド パーティ



「ボランティア日本語教室ガイド 2011 東京」をご活用下さい。

都内の日本語ボランティア教室のご協力を得て6回目の「ボランティア日本語教室ガイド」を発行・配布することができました。本冊子には180団体 232教室を掲載・紹介出来ました。

これまで発行した冊子の目次は区市別だけでしたが、学習者にとって、また紹介する人にとって、教室活動をしている曜日や教室のある駅の路線で希望する教室を見出せるよう、曜日別・路線別の目次を追加しました。

また、本調査と合わせて、日本語ボランティア教室に参加している学習者とボランティアの方々に、行政情報に関連して「わかる日本語・やさしい日本語」に対するご意見をアンケート形式で調査しました。調査結果を報告書に纏めましたのでお送りします。

調査結果をこれからのTNVNの活動や「わかる日本語」の検討に活かしていきます。皆様のご協力と積極的な参加をお待ちします。

TNVN東京日本語ボランティアネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通し、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

Column

◆コントラスト

1月末に行われた教室の新年会、草食系の若い好男子が現れました。昨秋に修士論文の作成に協力していただきたいと訪ねてきた某大学の院生でした。

彼の研究題材は、「東京東部の方言」調査で、特に音調に注目しているという。対象地域の江戸川、葛飾、足立の各区は千葉、埼玉の県境にあり、東京の中心とは異なる特徴があるといます。

その特徴は、

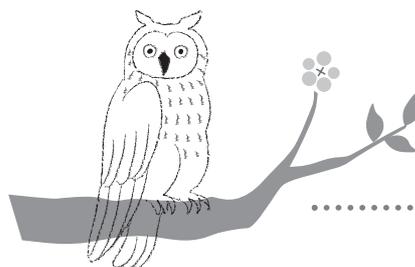
- ◆「ヒ」と「シ」の発音を例、「東」を「シガシ」と発音
- ◆「箸」「橋」「端」などの同音異義語があまり言い分けられない。
- ◆「何かを捨てる」ことを「ウッチャル」、「すばしっこい」ことを「ハシッカー」など、方

言と気付かずに使用している。

- ◆「～ダベ・～ダンベ」などの農村的？方言の語尾もよく使用する。

とりわけ江戸川区の葛西地域は、元々漁師町ということもあり、特徴的であるという。(これらの特徴はほとんど年輩の方にみられ、若い人にはみられないという)

江戸川葛西地区、昨今インド系住民が多く居住していると、脚光を浴びているなかでの地域文化(言語)の変遷を感じます。(い)



◆素晴らしい出会い

昨年の夏、奥日光・湯西川は大自然の中に包まれた、深山幽谷の平家ゆかりの里にある、老舗温泉旅館を訪ねました。

大太鼓の音で迎えられ、2階への階段は丸太を使ったもので、足下に注意して上り下りをしました。夕食は蔓の橋を渡り、古風な部屋づくりの間で、囲炉裏を囲んでの夕食です。ここで姿勢好から直ぐに分かる数人の外国人が日本流の作法でもてなしをしてくれました。男性と女性で板敷きの床に足をつけて座るのは少しつらそうでした。聞くとフランスの大学からの研修

生とのことでした。

旅館の女将に聞くと、同じ大学から毎年多くの学生を受入れ、日本の古文化を体験してもらっているとのことでした。

この旅館で草の根・国際交流・国際貢献が8年間続いているとのこと。今年も別の人達が体験に来るのでしょうか。

女将の心意気を感じ、研修生にはこの山里での体験が素晴らしい思い出となって欲しいと感じた、旅のひとつときでした。

(k.k.)

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

- ◆日時：毎週金曜日

第1、第3 金曜日/午後2時～4時
第2、第4 金曜日/午後2時～6時

- ◆場所

東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線一出口B2b)飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー

- ◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。

ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区新楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4

- TEL：03-3235-1171

(呼出：金曜日活動時間帯のみ)

- FAX：03-3235-0050

- E-mail：webadmin@tnvn.jp

- URL：http://www.tnvn.jp/

- 郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

- 会員数(2011年2月15日現在)

正会員：84団体、団体協力会員：3団体
個人協力会員：31名、賛助会員：5団体

- 編集/岩佐 幹彦、大木 千冬、

岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利

床呂 英一、林川 玲子、福井 芳野

- レイアウト/鶴田 環恵